

令和4年 10月28日発行

発行者 横須賀市立小原台小学校PTA

校長 佐野 裕美子

PTA会長 浜田 琢也

編集 広報委員会

小原台



ついに

図書館がバーコード化

されました!!



小原台小学校図書館は蔵書がバーコード化され、令和4年1月より運用されています。昨年の夏休みから12月までの5カ月と少しの期間、図書館を閉じて準備が進められました。全部の蔵書をチェックし、シールを貼り、きれいに拭いて本棚に「日本十進分類法（NDC）」ごとに整理して並べられました。バーコード情報をパソコンに入力し貸し出しカードができたところで図書館が再開となりました。バーコード化され、貸し出し冊数も増えているそうです。



○ メリット

- ・管理がしやすい
- ・検索がかけられる
- ・「平和」などキーワードで検索できる
- ・「ピッ」が楽しく子どもたちが借りにくる

× デメリット

- ・バーコードで貸し出しできる場所が一か所しかないので、外遊びが出来ない雨の日などは、50人くらいの列ができる
- ・100人くると貸し出しできず、後日になる



新刊コーナー



年間 350 冊前後の新刊が入ります。図書館入ってすぐ右側にあり、表紙が見えるように飾られているので子どもたちが手に取りやすい工夫がされています。

貸し出しカード



カードは2種類あるそうです。上のカードはクラスカード（先生が授業で使用する本を借りる時に使います。）下のカードは児童一人一人の個人カードです。各教室の壁に貼ってあり、自分のカードをそこから取って、本を借りたり返したりしています。

豆知識



私たちが子どもの頃、学校図書館は図書室とよばれていませんでしたか？以前は本がたくさんある場所として図書室と呼ばれていました。でも、実は学校図書館法（昭和28年法律、29年施行）で『学校には図書館を設けなければならない』と定められていたのです。図書館の活用が重要視されるようになり、横須賀市では2016年度市立小学校全46校に学校司書を配置し、名称も変更されました。そして、今年度全中学校にも学校司書が配置されるようになりました。

（参考：神奈川新聞）

図書委員さんのお仕事紹介

図書整備



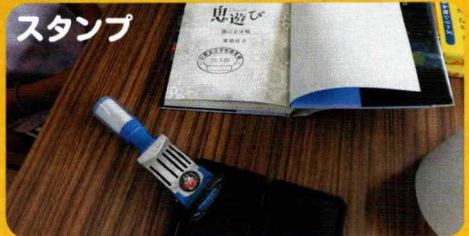
バーコード貼り、本の分類シール貼り、本が傷まないようシールカバーを貼るなど新刊受け入れの作業をしています。

貸し出し返却シート



中休みと昼休みに当番制で図書室にきて、本の貸し出しと返却をしています。その時に使われているのが上の写真の貸し出し返却シートです。バーコードのスク্যানがしたくて、図書委員は人気の委員会の一つです。

スタンプ



新刊が学校に来た時にスタンプを押すのも大切な仕事です。一冊ずつ押すのも大変だと思います。図書委員さんありがとうございます。



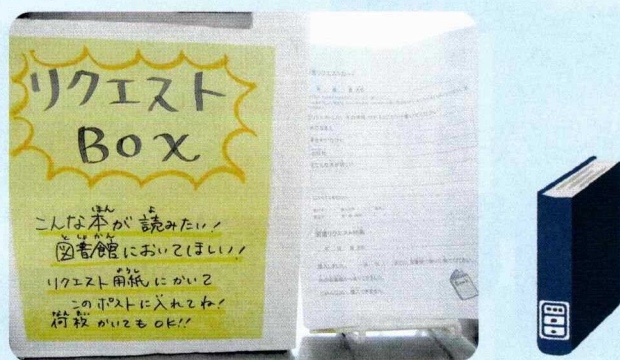
*その他にも、年1回の図書イベント、読書週間や小原っ子集会（各委員会で行われる）の担当などがあるそうです。

全学年 人気図書ランキング

都合により割愛します

読みたい本がない時は？ リクエストアンケートBOXを使おう！

図書館にはリクエストボックスがあります。アンケート用紙に購入して欲しい本を記入し、リクエストボックスに入れると学校司書の下城先生がチェックしてくれて購入できるか検討してくれます。購入されるとリクエスト者が一番最初に本を借りることが出来るようです！



月初めの校長先生コーナー

校長先生の推薦本コーナーが校長室の前の階段下に設けてあります。校長先生が月初めの朝会で子どもたちに話す内容に関連した本が、校長先生や司書の下城先生により選びだされ並んでいるのが、こちらのコーナーです。

地域の方の竹細工も飾られています。(昆虫、恐竜、動物…みんな遊んじゃう！！)

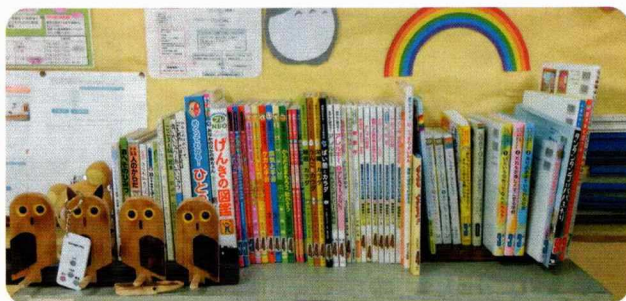


心と体に関する本



心と体に関する本や、食やアレルギー、多様性や性に関する本などを学校図書館で借りたことはありますか？

もし手に取った本をより詳しく知りたい場合や、図書館にはないけど読んでみたいという場合は、学校司書の下城先生や保健室の保坂先生に話してみてください。保健室に関連する本が置いてあるそうです。



本の特集 先生方に聞きました

～子どもの頃の思い出の一冊～

佐野裕美子校長先生

『赤毛のアン』 モンゴメリ

主人公のアンは、想像力豊かでおしゃべり好きな女の子。いつも前向きで希望あふれる思いに満ちたアンは、人情深くもあってとても魅力的。そんなアンの世界にひきこまれてとてもわくわくしたことを思い出します。アンが教師をめざすというので自分も教師をめざそうと思ったくらい好きでした。



三好大介教頭先生

『路傍の石』 山本有三

人生は一度きり。後悔のないように生きようという本のもつテーマに感銘を受けました。



脇門卓矢先生

『SLAM DANK』 井上雄彦

小1の時、姉が読んでいた影響ではまりました。この本がきっかけでバスケットを習い始めて、いまだにバスケットボールにたずさわっています。

佐藤優太先生

『むしばミュータンスのぼうけん』 かこさとし

絵本の巨匠、かこさとしが虫歯について描いた本です。健康な歯が黒く蝕まれる様子はとてもおそろしく、私はしっかり歯みがきするようにになりました。おかげで27歳の今でも虫歯0です！

清水萌美先生

『はじめてのおつかい』 筒井頼子作 林明子絵

低学年の時にこの絵本に出会いました。主人公のみいちゃんのようにしてみたくて、自分から母に「一人でおつかいに行きたい！」と言って、近くのスーパーまでおつかいをしました。

山本信吾先生

『美味しんぼ』 雁屋哲

今はなくなってしまった平坂書房武山店で亡き祖母に買ってもらった。タイトルにひかれ購入したらはまってしまい、新刊が出るたびに1冊ずつ購入。全巻持っています。食の問題だけではなく、環境、政治とつながっているところが好きです。(本当は違うマンガをねだったがダメと言われた気がします)

中村美花先生

『魔女の宅急便』

金曜ロードショーで放送された映画の本を読むことにハマり、映画と原作の違いを発見していました！一度映画で見ているので読みやすいです！

宮森勝子先生

『おやすみなさいフランス』 ラッセルホーバン

子どもが小さい頃一度読んであげたら大好きになり、その後繰り返し読んでくれとせがまれ大変でした。親の子への接し方も優しく、ほほえましいお話です。

内村恵仁先生

『ドラゴンボール』 鳥山明

低学年の頃にテレビアニメが始まって、2つ離れた兄とアニメを見るのが大好きでした。戦ったり、かめはめ波を打ったりして遊びました。高学年になったらマンガで、単行本や少年ジャンプをよく見ていました。今家に全巻あります。孫悟空が自分より強い相手に立ち向かう姿、仲間を大切にしている姿はカッコよかったです。

小島幸之先生

『三国志』 横山光輝(吉川英治)

アニメ、人形劇、まん画を体験し、出所が吉川英治さんの小説作品と知り読み始めました。(全8巻4度は通しました…もったか?) 聞き慣れない重さや長さの単位や、一騎当千の武将の活躍に心が踊りました。

史実とはちがうフィクション作品なのですが、吉川三国志がぼくのNo.1です。矢傷一つ負わない呂布 怪力蛮勇の張飛の活躍が最高です！

佐々木早百合先生

『こまったさん・わかったさんシリーズ』

このシリーズの本が大好きで、図書館で何度も借りて読んでいました。出てくる料理がどれもおいしそうで、読み終わった後は「これ作りたい！」と母にお願いしていました。特に好きだったのが「わかったさんのホットケーキ」です。

島田忠昭先生

『ズッコケ三人組シリーズ』

わくわく、どきどき、はらはら、三人組に入りたいなとたくさん読んでいました。

学校司書 下城奈津子先生

『クレヨン王国の十二ヶ月』 福永令三

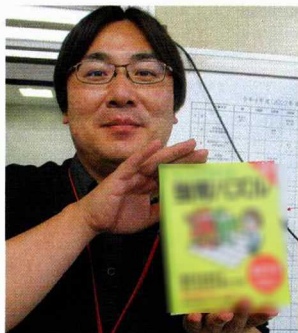
小学校の図書室にすらーと並んだクレヨン王国シリーズを端から順に読みすすめていくことが好きでした。ドキドキ、ワクワクの冒険と胸がぎゅっとなるエピソードもあり、続きが気になってしかたなかったことを覚えています。

～おすすめの本を教えてください～

佐野裕美子校長先生

『図鑑』

小原台小学校の図書室には、動物、植物、昆虫から恐竜、宇宙、人のからだ、乗り物など実に様々な種類の図鑑がそろっています。図鑑はながめているだけでも楽しく、細かい説明まで読むともの知り博士になれるのでおすすめです。



法師人誠先生

『強育パズル 道を作る』

迷路のようにスタートからゴールに向かって進みますが、すべてのマスを通して一筆書きをしなければならないのが難しくてももしろいです。

三好大介教頭先生

まんが『日本の歴史』

歴史の流れが頭に入ってきます。興味をもつ入り口としておすすめ。



菅沼香先生

『若おかみは小学生！』

小学校高学年の頃に読んでいた本です。主人公のおっこが若おかみとして旅館の仕事を手伝う中で様々な経験をし、成長していくお話です。何があっても頑張るおっこの姿を想像し自分も頑張ろうと思える作品です。ぜひ読んでみてください。



平唯乃先生

ちびまる子ちゃんのまんがにはまってしばらくしたあと、私の姉が一人机に座って「クックク…」と笑っていました。そのあとしばらくしたら今度は母がこたつで「クックク…」といった2人して何の本を読んでいるんだ！と思ったら、それはさくらももこさんのエッセイ『**ものかんづめ**』でした。私も気になり読んでみたら…笑いがとまりませんでした！まるちゃんに出てくる人物が一味ちがい、子どもから大人が笑える一冊です。家族みんな読んでみてほしいです！

伊藤依里先生

『いいから、いいから』 『バムとケロシリーズ』

読んでいてほんわかした気持ちになるのと「いいから、いいから」は悩むことがどうでもよくなるようなおじいちゃんがいいキャラクターだからです。

小杉功二先生

『はれときどきぶた』

日記に書いた変なことが現実になってしまうという内容がおもしろく、ちょっぴりこわいなと思って大好きでした。読むのが苦手な子にもとつきやすい一冊だと思います。えんぴつの天ぷら…とてもなつかしいです。

佐藤優太先生

『星新一ショートショートシリーズ』

一話ごと短くて読みやすく、少し不気味だったり怖さがあったりと大変引き込まれます。5、6年生におすすめです。

大内奈緒美先生

『旅の絵本、もりのえほん』 安野光雅

絵がこまかくてきれいだし、見るたびに新しい発見があって面白い本です。子どもから大人まで楽しめる絵本だと思います。(大人になってから買いそろえました。)

神野敬介先生

『パンダ銭湯』

パンダの意外な秘密がわかるかも!!

片岡唯衣先生

まんが『王様ランキング』

素朴な絵と深いストーリーで「立場がちがえば正義も悪もないんだ」と考えさせられます。セリフが少ない作品なので子どもたちもぜひ！

保健室 保坂久美先生

『はたらく細胞』(シリウス KC) 清水茜

細胞の人間化、また、病原体をモンスター化、怪人化させて人間の体内で起こるしくみを分かりやすく解説。おとなが読んでも(動画を見ても)飽きない。イチオシ！

ふれあい相談員 伊藤安子先生

読んでみてほしい本は『**だれも知らない小さな国**』です。作者の佐藤さとるさんは横須賀市出身です。そのため、物語の中の景色がとても身近に感じられ「コロボックルって本当にいるのかも…」と思わせてくれます。

学校司書 下城奈津子先生

『ま、いっか！』 サトシン

この本のテキトーさんぐらい「ま、いっか！」の気持ちでいればどんなことにもチャレンジできる気がします。